

2000年に文部科学省が発表したスポーツ振興計画に、2010年までに全国の市区町村に最低一つ総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型」という）を設立する、と明記されている。その2010年が今年である。総合型とは、多種目多世代型のスポーツクラブであり、新しい地域コミュニティとして期待されている。だが、2010年以降の具体的な施策がまだ発表されていない。総合型はどうなっていくのかと不安になる関係者も多いのではない。「ネクスト10（次の10年）」に関して文部科学省に早急に対応を求めたい。

# SPORTS MUST CHANGE

谷塚 哲



先日、鳩山由紀夫首相は衆参両院本会議で施政方針演説を行い、さまざまな政策課題に対して国の方針を語った。その中で市民や非営利組織（NPO）が主体となつて教育や子育て、街づくりなどに参画する「新

スポーツが持つ機能には教育や子供の健全育成がある。スポーツとはまさに社会の縮図であり、上下関係やチームワーク、勝者と敗者、努力、礼儀等、子供が大人になる過程で必要とされる要素をすべて含んでい

ティーとしての機能が期待されている。そして、スポーツ振興基本計画では総合型にNPO法人格の取得を求めており、民間非営利組織としてさらなる成長を期待しているのである。

今回の鳩山首相の発言を

## 国の施策担い手に

しい公共」の担い手拡充策を強調し、今年5月をめどに具体策をまとめると力説した。スポーツの「ス」の字も出てこないが、この発言は必ず今後の総合型に大きな追い風になるだろうと私は考えている。

る。さらにスポーツは心の成長だけでなく健康、体力づくりという観点からも子供たちの成長には欠かせない。また、最近街づくりに入れる動きも見られ、スポーツは新しい地域コミュニ

私たちスポーツ関係者はしっかりと受け止めなければならぬ。いくら国の重点施策として非営利組織への期待が高まったとはいえ、それを生かすも殺すも私たち次第である。国が今求め

て、街づくりなどであり、これらのキーワードとスポーツの関係性は大変深い。スポーツが持つ機能を国の施策とどうリンクさせるかを考えていく必要がある。

メダル何個という議論は

必要かもしれないが、もっ

と国の屋台骨としてスポーツの持つ魅力を発揮できる方法に力を注ぐことが、今後スポーツ界には必要ではないか。私はその方法、

屋台骨が総合型だと考えている。屋台骨がしっかりしていれば、おのずとメダルはついてくるのである。（REGISTA有責任事業組合）